

NPO法人

第40号 冬

芦安ファンクラブ通信

特定非営利活動法人芦安ファンクラブ

事務局 南アルプス市芦安芦倉1589-8 大滝要造

TEL 055-288-2531 FAX 055-288-2533

URL=http://catv.nus.ne.jp/~afc3193/

E-mail=rantan@blue.ocn.jp

「最後の紅葉まつり」?

開催される

十月七日(日)南アルプス市芦安紅葉祭りが芦安小学校校庭で行われた。昨年より少し短い準備期間であったが、昨年並みの規模と内容を企画することが出来た。しかし今回の祭りは大変意味深い。前々から、芦安におけるせつかくの地域祭りは春の新緑の頃にしたほうがよいという意見集約がやつとまとまり、次回は芦安の山々が新緑に染まる頃、地域祭りを実施することになったからだ。従って、今回の祭りは紅葉まつりとしては最後ということになる。

会場を広く使え、ステージを大きくしたなどの効果により、お祭りが一回り大きくなったようだった。司会は昨年度大変好評だった芦安中学生生徒にお願いして、フレッシュな幕開けとなった。

オープニングは中学生の夜叉神太鼓が鳴り響き、セレモニーでの市長及び関係者の挨拶の後、小学生の「ワッショイ」の踊りが続いた。健康と生きがいづくり講座の高齢者による合唱は昨年より大勢になり、指導者のご苦労が伺われる。出店は、郷土工芸伝承コーナーでは、わらぞうりや竹細工を体験してもらい、食品提供では恒例の手打ちそばや、やきそばの販売が並ぶ。今回のチャレンジ食品として学校関係者の山賊なべと、小ジャガのみそころがしがあった。怪しげな名前の山賊なべは猪や鹿の肉をふんだんに使っている。味噌ころがしは懐かしい郷土

料理でもあり、早々完売となってしまった。はたこの会では飲料品、食協の皆様は寿司類、清月さんではお汁粉、商工会では農産物の販売に協力してくれ、フォークダンス部とチロル学園ではバザーを開いてくれた。今回、新しく加わってくれた芦安郵便局と環境省南アルプス保護官事務所もそれぞれの活動内容を掲示して、盛り上げてくれた。鹿調査用カメラの体験コーナーでは鹿になった人達が群れをなしていた。

信玄ロックの演舞やフォークダンス部の円舞はいつ見ても華やかで美しい。今年は足元が平だからしつかり踊れたとのことだった。数年前の紅葉まつりに出演した時はあまりの寒さに観客も演奏者も大変だった「ジャズマーケット」の皆さんも充実したジャズ演奏を披露してくれた。処々に顔を出したオヤジギャグは演奏ほどの拍手は見当たらなかった。アンデスの民族音楽「グルーポ・パホ」の皆さんは、AFCの登山教室でお願いした以来であるが、益々低音に磨きをかけ、異様な世界に観客を引き込み、楽しませてくれた。ステージバックに張った北岳のシート画像の岩場に不思議なほど溶け込んでいた。芦安ファンクラブとしては、市のフェスタで好評だったクライミング体験ボードを会場に組立て大勢の子供達に楽しんでもらった。それとガイド付の紅葉狩りツアーは全便満席でしかも増発するほどの盛況だった。地域の名所を解説しながらのツアーは祭りが変わっても形を変えて残して生きたいものだ。昨年より

も豪華になった抽選商品は最後まで残って楽しんでくれた人へのプレゼントだが、すでに帰った人の抽選番号が繰り返され、次回に向けて対応策の検討が求められる。

早朝より、入場者や退場者への対応をしてくれた安協の皆さんには、変則な駐車場への案内等で大変なご苦労をいただき、スムーズな車両移動が出来たことに感謝したい。次回へ向けて駐車場の確保や誘導もしつかり検討しなければならない。

役九百人ほどの参加者が終日入れ替わり楽しんでくれたが、いつもながら出店者や出演者の皆さんの献身的な協力と行政の支援によってこの小さな地域祭りが継続できることに心から感謝し、次回の楽しい祭りへの励みにしたい。

芦安地域祭り実行委員会

事務局 清水准一

